日高リハビリテーション病院　回復期リハビリテーション病棟に関する報告

Ⅰ.　調査期間　2025.10.1　～　2025.12.31

①調査期間に当院回復期リハビリテーション病棟を退棟した患者様の人数

※回復期リハを要する状態の方のみ

61名

②上記のうち、実績指数計算の対象患者様の人数

※実績指数＝リハビリの質の評価指標

49名

③調査期間における退棟患者様（②）の区分内訳

	疾患区分	人数	平均入棟日数
（1）	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後の状態または義肢装着訓練を要する状態	8	104.8
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頚髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	17	55.5
（2）	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折または二肢以上の多発骨折の発症後または手術後の状態	21	51.3
（3）	外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	3	64.3
（4）	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態	0	0.0
（5）	股関節または膝関節の置換術後の状態	0	0.0
（6）	急性心筋梗塞、狭心症発作その他の急性発症した心大血管疾患または手術後の状態	0	0
（7）	（1）～（6）に準ずるもの	0	0
	全体	49	62.3

Ⅱ.　調査期間　2025.7.1　～　2025.12.31

調査期間におけるリハビリテーションに関わる実績（対象：100名）

	脳血管〔41〕	運動器〔53〕	廃用症候群〔6〕	全体
当院の実績指数（中央値）	58.6	40.2	55.6	47.2
実績指数：全国水準（中央値）	55.2	45.6	45.2	46.6
当院の平均ADL利得	23.0	26.7	47.2	26.4
ADL利得：全国水準	24.5	26.2	19.5	24.8
当院の平均入棟日数	67.2	55.2	56.5	60.2
平均入棟日数：全国水準	83.0	54.5	53.5	66.0

※ADL利得は日常生活動作の自立度を示すFIM〔126点満点〕という指標で算出しています。

※全国水準は「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書2025 年3月より抜粋」

Ⅲ.　総評

全体としては全国水準を上回る実績でした。運動器の方の実績指数（より短い期間でよりADLが改善した場合に高くなる数値＝リハビリの質の１つの指標）がやや低い傾向を認めました。入院期間が全国水準と比較してやや長い事などが影響しているかもしれません。
脳血管疾患においてはADL利得は低い傾向でしたが、早期退院が図れた結果でもあり、実績指数は全国水準と比較して良好な結果でした。廃用症候群において入棟日数が長い傾向にあるものの、利得が全国水準を大きく上回っており、必要なリハビリ期間を提供できていたと考えます。

報告日：　2026.1.20